



# 教育委員会会議 令和2年9月定例会 会議録

(13 : 30)

## 1. 開 会

市民憲章唱和

## 2. 教育長あいさつ

## 3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第15条第2項の規定による

## 4. 前回会議録の承認

全員賛成

## 5. 教育長等の報告

なし

## 6. 議事

「(2)報告①」について、説明員に来ていただいているため、先に「(2)報告①」を行い、その後「(1)議案」の審議を行う。

### (2)報告

#### ①改正文化財保護法による文化財保存活用地域計画の認定について（文化課）

概要説明（資料6-2-1）

機構改革により、文化課は今年度より市長部局になりましたが、昨年度まで委員の皆様にご意見等いただきながら作成した文化財保存活用地域計画がこの度完成しましたので、報告いたします。本計画は、過去3年間にわたり、当初は歴史文化基本構想という名称で事業をスタートさせたものですが、昨年度から文化財保護法が改正され、文化財保存活用地域計画という名称になり、この計画が7月17日に文化庁の認定を受けました。今後は児童生徒を含めた地域の皆様との協働作業等でご協力をお願いすることになります。

資料をご覧ください。今までは、文化財というと神社やお寺、古墳などを単体のものとして保存・継承してきましたが、法改正により文化財保護の概念が変わり、文化財を単体ではなく総合的・包括的に保存・継承しなければならないとされました。これを受け、津山市の文化財の特徴をまとめ、未来に保存活用・継承していくために、どのような模索が必要かという手立てを考え、まとめたのが津山市文化財保存活用地域計画となります。この中で、文化財の保存活用に関する方針を「文化財の調査研究」「文化財の保存」「文化財の活用」「住民や民間団体との協働」「保存活用するための資金づくり」とし、その措置として資料には代表的なものを挙げています。例えば、「文化財の調査研究」では、美術品や仏像の調査研究を継続することや、「文化財の活用」では、旧荻田邸をホテルとして活用している実践例、「住民や民間団体との協働」では、中山神社の修理に当たって、専門のコンサルタントではなく、ヘリテージマネージャーという古建築に精通した地元の技術者の力を借りながら進めていくということが記載されています。資料6ページには関連文化財群として5つのカテゴリに13から14のストーリーをまとめており、主なものを4つ挙げています。1つ目は「法然ゆかりの立石家」というもので、二宮にある立石家の古代から近代に至るまでの歴史を紡ぐものです。2つ目は「城下町の活気がよみがえるまつり」として、江戸時代から続く、歴史ある津山まつりの紹介をしています。3つ目は「おいしい津山の食文化」という事で、津山の肉食文化や和菓子の文化を紹介するストーリーです。4つ目は「山陰と山陽をむすぶ鉄道の夢」として、市全域にたくさんある鉄道関係資産についてストーリーを記載しています。本計画書には、このようなストーリーを13から14記載しており、これらを軸に事業を展開することになります。

### (1)議案

#### ①津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱について（次世代育成課）

#### 概要説明（資料 6-1-1）

津山市青少年育成センター条例施行規則第 5 条の規定に基づき、12 名を委嘱するものです。この度は任期満了に伴う交代で、任命期間は令和 2 年 10 月 1 日から令和 4 年 9 月 30 日までとなります。

全員挙手—原案通り可決承認

### ②津山市立幼稚園の定員について（こども保育課）

#### 概要説明（資料 6-1-2）

津山市立幼稚園規則第 10 条及び第 14 条第 2 校の規定に基づき、令和 3 年度における津山市立幼稚園の各年齢別学級数、定員及び入園者の選考に関して、必要事項について告示するものです。公立幼稚園の利用定員は、津山市立教育・保育施設再構築計画で、入園申し込み状況や私立施設の受け入れ状況等を関係機関との協議を踏まえ、適正な範囲で決定することとされております。これまで教育委員会協議会の中でご協議いただきましたが、来年度の公立幼稚園の各年齢別の定員を、つやま西幼稚園は、3 歳児 22 名、4 歳児 50 名、5 歳児 50 名の合計 122 名、つやま東幼稚園は、3 歳児 30 名、4 歳児 60 名、5 歳児 60 名の合計 150 名とし、学級数は各年齢別に 2 学級ずつで、1 学級の定員を 3 歳児 15 人、4 歳児・5 歳児 30 人とします。

この利用定員については、今年 3 月に策定した第 2 期こども子育て支援事業計画や今年 7 月に実施した私立幼稚園等の定員調査結果から推計した幼稚園利用のニーズ量、そして昨年度の教育・保育の状況と、今年度の公立・私立の入園数を参考に現在家庭保育している 2 歳児について、令和 3 年度に津山地区の幼稚園・認定こども園に入園する見込みの 3 歳児の児童数を推計し、さらに公立幼稚園の入園希望者数等から試算しています。また、昨年 10 月から幼児教育・保育が無償化されたことにより、令和 2 年度は 3 歳児の入園者数が増加しており、この傾向は続くものと思われまます。さらに、3 歳児で幼稚園に入園するのは、現在家庭保育している 2 歳児だけではなく、保育園からの転園する児童もいること、東西の学区で幼稚園希望者にばらつきがあることや、この 2 年間の実績等を勘案し、つやま西幼稚園の利用定員を、3 歳児 8 名、4 歳児・5 歳児をそれぞれ 10 名ずつ減員することとします。

次に入園者の選考について、各学年の入園希望者数の合計が利用定員を超えた時は、抽選を実施します。ただし、在園児童及びその兄弟姉妹については、各学年の利用定員上限に達するまでは他に優先して入園を許可するものとし、その順位は在園児童を第 1 とし、在園児童の兄弟姉妹を第 2 とします。

全員挙手—原案通り可決承認

## (2)報告

### ②令和 2 年度 9 月定例会の質問答弁について（教育総務課）

#### 概要説明（資料 6-2-2）

9 月議会における教育委員会関係の質問と答弁の要旨を資料のとおりまとめました。この中で、今後、継続的な課題となっているものを中心に報告します。

まず、高橋議員からコロナ関連として、修学旅行の状況を質問されていますが、具体的な事は本日の報告事項で後ほど報告します。また、感染者に対する差別や偏見・誹謗中傷の状況や対策についても質問があり、教育委員会としてもしっかりと対処している事をお答えしています。さらに ICT 関係で、児童生徒用の端末の利活用や不具合への対応について質問がありましたが、これに対しては、ICT 支援員を配置する予算を計上しており、その内容を説明しています。また、コミュニティスクールについても質問があり、進捗状況や今後の取組み等を報告しています。

次に、政岡議員からは、故郷を愛し誇りを持つ子供を育てるという方針の中で、地域の中でどのような活動や取組みを行うのかという質問がありました。これに対しては、今まで同様、学校行事を通じて地域と関わり、相互に顔が分かる関係を築きながら、地域を愛することができるような子供を育てていきたいという答弁をしています。

三浦議員からは、アプリ「COCO A」の普及率や教職員の活用状況について質問があり、今後は周知を行い、利用促進を図りたいという答弁をしています。

田口議員からは、熱中症対策として体育館のエアコン設置について質問があり、これに対しては先進事例を参考にしながら整備手法や財源の確保について、引き続き調査・検討していきたいとお答えをしています。

河村議員と秋久議員からは、特別な支援を要する児童生徒への対応について質問があり、教育委員会としても、今後もしっかりと対応していきたいと答弁しています。

安東議員からは、GIGA スクール構想の対応状況について質問がありました。これについては、後ほ

どの報告事項において説明いたします。

竹内議員からは、親学の取組状況についての質問があり、今年度の状況や参加者の感想を答弁しています。

### ③教育委員の交代について（教育総務課）

概要説明（資料 6-2-3）

昨日の市議会において、新教育委員の任命の同意が得られたため、報告いたします。10月1日付で任命される教育委員は、薬師寺明子氏です。薬師寺氏におかれましては、美作大学生生活科学部社会福祉学科の准教授として教鞭を執られており、社会福祉を専門分野とされています。任期は令和6年9月30日までの4年間となります。

### ④学校訪問の実施について（教育総務課・学校教育課）

概要説明（資料 6-2-4）

まず、教育総務課が実施する教育委員の学校訪問について報告します。今年度は、学校訪問を10月19日から11月16日までの期間中に6日間を実施します。訪問先としては、管理職の新任・転任があった学校を中心に小学校11校、中学校3校及び鶴山塾、草加部・戸島食育センター、つやま西幼稚園を予定しています。また、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症への対応や対策についても、現場で話を聞き、実際にご覧いただく機会が持てたらと考えています。

学校教育課の学校訪問については、昨年度は1学期と2学期に実施しましたが、今年度は1学期の訪問を中止しており、2学期のみ実施します。また、今年度は県教委と一緒に訪問を行い、授業改善の様子や学びのサイクルの進捗状況、教職員の勤務状況等について確認することとしています。訪問は9月24日から11月12日までを予定しています。

### ⑤修学旅行の代替行事について（学校教育課）

概要説明（資料 6-2-5）

修学旅行については、7月に中止を連絡した際に、各学校で代替行事を検討するよう通知したところです。資料は、現時点での修学旅行の代替行事の状況についてまとめたものです。多くの学校で代替行事は計画されており、早い学校では既に実施したところもあります。行き先としては、多くは県内や鳥取方面の日帰り旅行や学校周辺での行事が計画されています。いずれにしても、現状の中で思い出に残る工夫を各学校が考えているところです。また、この後お知らせする教育委員会通信にも、院庄小学校の代替行事を紹介しています。

## 7. その他

### (1)各課からのお知らせ

#### ①給食だより、9月イチオシ！給食レシピについて（保健給食課）

給食だより9月号とイチオシ給食レシピを発行しました。いずれもホームページに掲載済みです。給食だよりでは「毎日食べよう！朝ごはん」と題して、朝食摂取率を上げるため、継続した啓発を行っています。10月には、小学校5年生及び中学校2年生を対象とした食生活アンケートを実施する予定です。イチオシ給食レシピでは、オリンピック・パラリンピック応援献立として、給食献立に各国の料理を取り入れており、今回はタイ料理の中のガパオライスを紹介しています。また、例年市内の小学校5・6年生及び中学生を対象に、夏休み期間を利用して「レッツチャレンジクッキング」を実施しており、第13回の今回は「発見！自分流最強みそ汁」をテーマに募集を行ったところ、1,749点の応募がありました。10月17日（土）と18日（日）の2日間、アルネ津山の地域交流センターで応募された全作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

#### ②津山市教育委員会通信（10月号）について（学校教育課）

教育委員会通信10月号を発行します。表面では、つやま子ども観光ガイド育成塾の第1回の様子を掲載しております。裏面には、親子詩講座の実施や修学旅行の代替行事を記事にしています。

#### ③GIGAスクール構想の実現に向けた実施状況について（教育総務課）

GIGAスクール構想については、現時点では端末整備や校内ネットワーク環境整備を行っているところですが、併せて実際に使用する教職員の研修等の運用に向けた準備を学校教育課と進めており、その状況を報

告いたします。まず、8月3日と4日に管理職に向けて、GIGA スクール構想の概念や目的についての研修を実施しました。8月3日には県から講師をお招きし、方向性をお話ししてもらったところです。次に、各学校で独自に校内研修を進めていけるよう、各学校の ICT 担当者向けの研修を10月29日・30日に行う予定としています。内容は「Google For Education」の主要サービスを中心として、操作方法や活用するための情報等を学ぶもので、当日は端末を貸与していただき、実際に機器に触れながら行う予定です。3つ目の研修は、すべての教職員を対象とした研修です。各学校ごとに、実際に端末を操作して体験してもらうようなプログラムを考えています。これらの研修は導入のためのものですので、これ以降実際に学校で使用する時には、委託業者にフォローアップもお願いしたいと考えています。

また、保護者に向けては、GIGA スクール構想に係る端末整備や整備後の活用方法、これからのスケジュールについて、10月中旬にお知らせを行う予定にしています。今後、端末が各学校に納品された後に、参観日等で実際の機器や活用の様子をご覧いただくことも考えています。先般行われましたPTAとの懇談会でも ICT 関係の質問が多くあったため、教育委員会としても保護者の方へ色々な情報をお伝えしたいと思っています。

## **(2) 次回定例会の開催について**

教育委員会規則に毎月第4木曜日が定例会開催日となっていますが、次回定例会は令和2年10月22日(木)午後1時30分から開催します。

全員賛成により決定

## **(3) その他**

### **8. 閉会**

(14:28)